

電気通信大学 平成21年度シラバス

|         |                                     |          |       |
|---------|-------------------------------------|----------|-------|
| 授業科目名   | 離散数学第一演習                            |          |       |
| 英文授業科目名 | Exercises in Discrete Mathematics I |          |       |
| 開講年度    | 2009年度                              | 開講年次     | 1年次   |
| 開講学期    | 後学期                                 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法   | 演習                                  | 単位数      | 1     |
| 科目区分    | 専門科目-学科専門科目-必修科目                    |          |       |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科                             |          |       |
| 担当教官名   | 崎山 一男                               |          |       |
| 居室      | 総合研究棟927                            |          |       |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 公開E-Mail           | 授業関連Webページ  |
| saki@ice.uec.ac.jp | <a href="http://www.oslab.ice.uec.ac.jp/class/index.html">http://www.oslab.ice.uec.ac.jp/class/index.html</a> |

|  |
|--|
| <b>【主題および達成目標】</b>   |
| <p>情報と通信に関わる科学・技術をよりよく理解するためには、微分や積分などの解析学だけでなく、離散的な物事を取り扱うための数学が必要になる。ここでは、そのような離散数学の基礎事項について講義する。この講義を通して、離散的な物事の構造を数学的に把握し、数学の言葉で表現し、数学的に思考するための基礎能力を身につけることを目標とする。</p> |

|                         |
|-------------------------|
| <b>【前もって履修しておくべき科目】</b> |
| 特になし                    |

|                              |
|------------------------------|
| <b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b> |
| 特になし                         |

|   |
|---|
| <b>【教科書等】</b>   |
| <p>教科書：<br/>         惠羅博，小川健次郎，土屋守正，松井泰子共著「離散数学」横浜図書。<br/>         加えて，教科書以外の内容については，ハンドアウトを随時配ります。</p> <p>参考書：<br/>         尾関和彦著「離散系数学入門」共立出版<br/>         守屋悦朗著「コンピュータサイエンスのための離散数学」サイエンス社。<br/>         リブシュッツ著 成嶋弘監訳「離散数学 -- コンピュータ・サイエンスのための基礎数学 --」マグローヒル演習シリーズ，マグローヒル社。</p> |

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

離散数学第一の講義で取り扱った内容に関する演習を行う。  
教科書の問題とハンドアウトで提供する問題に取り組み、理解を深める。

### 【授業時間外の学習（予習・復習等）】

予習・復習はしっかりと行ってください。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 評価方法：

原則として期末試験の成績に基づいて評価を行う。中間試験、小テスト、レポートなどの評点を成績評価の付加的な判断材料とすることもあるが、その場合は授業の初めに説明する。

#### (b) 評価基準：

「集合と写像」、「論理」、「数学的帰納法」、「同値関係」、「順序関係」などの基本概念を理解していることをもって合格基準とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等があるときは事前にメールでアポイントメントを取ること。  
講義のwebページを参照すること（9月下旬に開設予定）。

### 【学生へのメッセージ】

この講義は、これ以後に学ぶ様々な科学・技術をより深く理解するための基礎力の向上を目的としている。この講義の内容を単に理解するだけでなく、この講義で学んだことを様々な場面に適用して独自の解釈を構成することを試みるようにしてほしい。

### 【その他】

特になし。